

## 部屋

希うものは何もなく  
僕は己が生活を船としたのです  
あなたは言うでしょう  
僕の生活が満ちたりたものであると  
それはあなたが間違っているのではないのです  
あなたはむしろ僕はその答えに驚くでしょう  
それを口にする僕の空ろな瞳と見比べて・・・

祈りはあるのです  
希うものはなくとも  
僕はそうした祈りがあることを知りました  
怖れに限りなく近い祈りが  
たとえ知り尽くした者となっても  
いや、それ故にこそ  
祈りはあるのです

(1991.10.8)